



新年明けましておめでとうございます。

— 2015年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。 —

新年、明けましておめでとうございます。皆様も、よい年をお迎えるのここと存じます。

神宮前歯科クリニックは、平成22年1月4日に、ここ円山神宮前に開院し、お陰様で6年目を迎えることができました。当院も年々、ご来院いただける患者様が増え、昨年も多くの患者様をご紹介頂き、皆様には心より感謝申し上げます。有難うございました。今年も、皆さまに喜んで頂けるよう、初心の気持ちを忘れず、クリニックを再構築していこうと決心しております。

今年は、皆さまのご都合のよいご予定で、なかなかご予約が取りにくい状況もございました。今年、さらに歯科衛生士を増員し、また、それぞれが更なる技術のスキルアップとヒューマンスキルのアップを目指して、神宮前歯科クリニックのチーム力を向上させていきたいと考えております。

昨年は、院長が例年のごとく国内外での研修に参加し、スタッフも札幌市内のみならず東京や横浜での研修や学会に参加しました。そして神宮前歯科クリニックでの勤務期間を重ねることで、物事に対する考え方や患者様を思う気持ち、人との接し方など、少しずつではありますが、成長してきております。私を含めまだまだ至らず点が、沢山あるかと思いますが、何か気になる点がございましたら、ご助言いただきますようお願い申し上げます。今年も、一つ一つの出来事を真摯に受け止め、一生懸命研鑽し、神宮前歯科クリニックらしい歯科医療を提供していきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

昨年は「虫歯・歯周病予防」をテーマに書かせていただきましたが、今年のテーマはといいますと、「歯の破折」です。三大疾病とありますが、歯の三大疾病は、「虫歯」「歯周病」、意外と知られていないのが、この「歯の破折」なのです。歯の破折は、抜歯に至る場合も多いですし、見た目やレントゲンでは、診断できない場合もあり、原因不明な痛みや腫れが多いのが特徴です。原因は、単純に噛む力に歯が耐えられなかった。ということですが、神経のない歯に多く、初期の場合には、細かな破折線(マイクロクラック)として見受けられます。そこから、徐々に破折した部分が広がり、痛みや腫れが出てきて、破折した方向によっては、

レントゲンでようやく判るようになります。ですから、なかなか腫れが治らない、違和感が取れないなどの症状が起こる場合もあります。予防策としては、かみ合わせの治療をしたり、歯ぎしりやくいしばりなどの過度な噛む力をマウスピースで保護するなどを考えますが、なかなか難しいところもあるのが現状です。「虫歯」「歯周病」は、細菌による感染症です。「歯の破折」は、咬合力がポイントです。ですから、この「細菌」と「力」をどうコントロールするかというのが、今の歯科医療の課題なのです。細菌のコントロールは、盛んに薬の研究がされていますが、まだまだ未知の細菌がいますし、見つかっている細菌でも何をどう作用させているのか分かっていないものも多くあります。力のコントロールは、私たちがコントロールできる範囲を越えている日常の習癖やふとした瞬間であったりしますので、お互いの協力も必要な部分なのです。一見硬そうに見える歯でも、大きさ、形、かみ合わせ、歯の状態、噛む力に個人差が非常に大きく、実際には、100キロ以上の力で噛む方も大勢いらっしゃいます。びっくりですよ。それは、割れることもあるよ。となるのですが、これを何とかするのが、これからの歯科医療の課題なのでしょう。いずれにしても、歯を大切に。「虫歯」「歯周病」にならないように、早期発見・早期治療でおおごとにならないようにする。まずは、これが大事なのです。

今年も、皆様とともに良い1年になりますよう、神宮前歯科クリニックスタッフ一同で、全力でサポートしてまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。

恒例の

私の今年の目標は、

『志』: 相手のために思う気持ち。患者様、スタッフへの貢献。

『健』: そろそろ人生の折り返し地点。健康を考えよう。

『夢』: 夢を描き、目標とし、行動し、現実化させる。

神宮前歯科クリニック

院長 工藤 昌之

